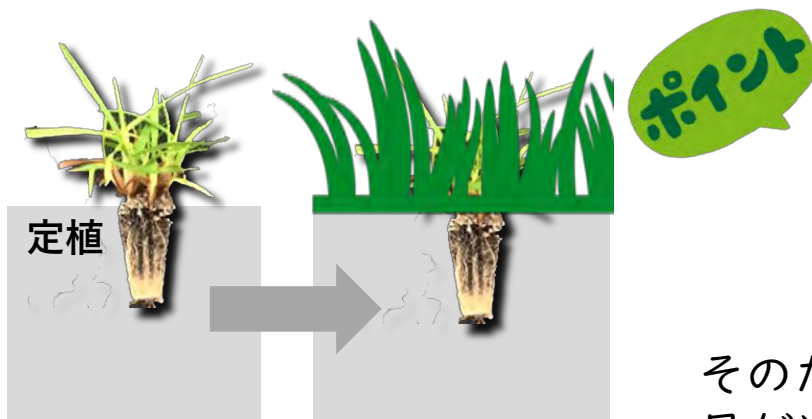


IM工法による畦畔緑化のポイント

1

センチピードグラス（ムカデ芝）は、雑草よりも草丈が低く、定植後の生育がゆっくりですので、雑草が勢いよく育ち繁茂して、雑草に覆われて光があたりなくなると、たちまち、生育が悪化して、ひよろひよろになり、最悪枯れてしまいます。

これが、センチピードグラスでの緑化がうまくゆかず、失敗してしまう大きな原因です。



施工初年度に雑草に負けないようにセンチピードグラスを生育させて、**密に被覆**させること！
＝センチピードグラスが良好に生育できるように光がしっかり当たるようにする！

そのために、頻繁に雑草を刈って、センチピードグラスに日が当たるようにします。しかし、大変な作業です。

雑草に負けない環境作り



法面土壌の表面だけ強酸性化して雑草を生えにくくする！

2～3cm 土壌pH調整（強酸性化）

硫黄華（硫黄粉末）を散布すると土壌微生物の作用で硫酸に変化して表面部分のみ強酸性化できる

安心してください！
センチピードグラスの根は影響を受けません

この部分がマルチのように機能して雑草を抑制します。

見えないマルチ
Invisible Mulching

そこで、畦畔法面の土壌をセンチピードグラスが被覆するまで、雑草が生えにくい状態にしましょう、というのがこの工法の考え方です。

IM工法で土壌表面を強酸性化すると、雑草発生が抑えられ、センチピードグラスが旺盛に生育できます。

土壌強酸性化処理によって、

無マルチ条件下でも雑草発生を大きく抑制

→ センチピードグラス芝苗は雑草に覆われることなく旺盛に生育

→ 施工部位をほぼ被覆

→ 施工初年度から草刈り作業を大幅に軽減することも可

2020年8月6日（定植6週間後）

定植後最初の草刈り前

2

慣行区



IM工法



2020年8月19日（定植8週間後）
最初の高刈り（15cm高）後の様子

IM工法

強酸性化した土壌表面がマルチのように機能して、
雑草の発生を抑制

無処理（慣行）

無植栽区

センチピードグラス植栽区

無植栽区

雑草発生量70%以上減少！

センチピードグラス植栽区

雑草発生量80%以上減少！